

代表樹種 クロマツ



[撮影場所;戸畑区一枝「明治学園」前]

マツ科 クロマツ（黒松） 常緑針葉高木 樹高30～35m

やせ地、乾燥地に耐え、萌芽力があり、生長が速い。潮風に対する抵抗性も大きい。古来、庭木、並木、防風・防潮樹、建築・土木用材、花材として幅広く利用されてきた。海岸の土がほとんど無い場所でもたくましく生育していたので、強い樹種と思われてきたが、近年大気汚染に弱いことが判明しつつある。大規模な松枯れは、大気汚染とマツクイ虫との複合によるものとされている。



街路樹としての代表的路線

小倉北区 城内大手町1号線

八幡西区 長崎街道(岸の浦2丁目)

戸畑区 県道下到津戸畑線